

特別展 高梁市発足20周年記念

備中神楽と 西林国橋

会期/令和7年

2/1[土]-5/12[月]

入館料 一般 500円
65歳以上・高校・大学生 300円
中学生以下 無料

※障がい者手帳を持参の方と付き添いの方お1人まで無料

開館時間 9:00~17:00 (但し、入館は16:30まで)

休館日 火曜日(但し祝祭日は開館、翌水曜日休館)

主催/高梁市歴史美術館

共催/岡山大学文明動態学研究所

後援/備中神楽成羽保存会、岡山史料ネット、岡山県郷土文化財団、
山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、読売新聞岡山支局、
NHK岡山放送局、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち、OHK岡山放送、
KSB瀬戸内海放送、RNC西日本放送、吉備ケーブルテレビ

会場/高梁市文化交流館2階

高梁市歴史美術館

岡山県高梁市原田北町1203-1

TEL.0866-21-0180

講演会

▶土師家文書でたどる備中国川上郡福地村の神社と人びと - 西林国橋と兄・淡路 -

日時 4/12^土 10:00~11:30 ※要入館券

会場 高梁市文化交流館3階 講座室2・3

講師 室山京子氏(岡山大学文明動態学研究所客員研究員)

▶高梁城南高校郷土芸能部による
神楽公演

日時 5/10^土 14:00~15:00

会場 高梁市文化交流館3階中ホール

関連イベント

特別展

高梁市発足20周年記念

備中神楽と西林国橋



「備中神楽」は、岡山県西部の備中地方一円に伝承されている神楽です。昭和54年(1979)には、国の重要無形民俗文化財に指定され、本県を代表する民俗芸能のひとつとして広く親しまれています。

この神楽は元来、荒神の鎮魂を目的に奉納されることから「荒神神楽」、また神殿を設け荒神を勧請して行うことから「神殿神楽」とも呼称され、主に神官が演じる神事性の強いものでした。

江戸時代後期には、川上郡福地村(現在の高梁市落合町福地)に生まれた神官西林国橋(1764~1828)が、従来の荒神神楽に加えて古事記や日本書紀といった神話を取り入れ、「岩戸開き」「国譲り」「大蛇退治」という演劇性に富んだ「神代神楽」を創作し、人気を博し地域に定着しました。

この展覧会では、神楽に関する古文献、神楽面、衣装などの各種資料により、「備中神楽」の歴史をわかりやすく紐解きます。また、平成30年豪雨により倉敷市真備町で被災したものの修復された西林国橋に関する古文献も初公開します。



素戔鳴尊(大蛇退治)



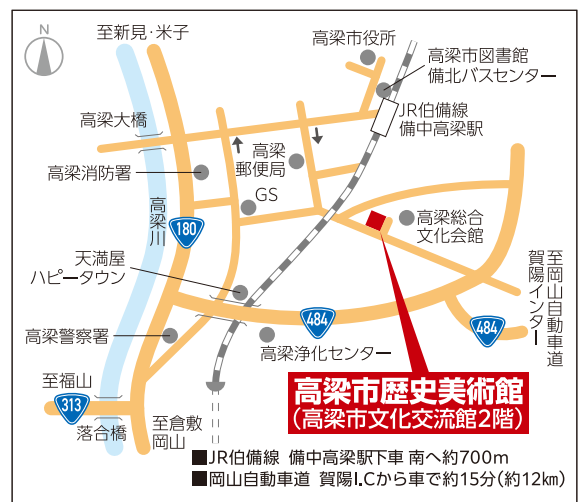
西林家系図(個人蔵)



建御名方命面・素戔鳴尊面(高梁市指定重要文化財、個人蔵)



西林国橋の神道裁許状(個人蔵)



高梁市歴史美術館 (高梁市文化交流館2階)

〒716-0043 岡山県高梁市原田北町1203-1 TEL(0866)21-0180

■JR伯備線 備中高梁駅下車 南へ約700m
■岡山自動車道 賀陽I.Cから車で約15分(約12km)